

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	乳癌
治療法	タキソテール単独療法

	1
抗癌剤・商品名	タキソテール
規格	20mg 80mg
一般名	ドセタキセル
一日投与量(規定)	75mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	112.58 mg
実際の投与量	110 mg
	73.3 mg/m²
投与日	day1
1クール期間	21日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	乳癌
推奨経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.重篤な骨髄抑制のある患者 2.感染症を合併している患者 3.発熱を有し感染症の疑われる患者 4.本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 5.妊婦又は妊娠している可能性のある患者
中止基準	投与前の好中球数:2000/mm ³ 未満骨髄機能が回復するまでは投与延期 (タキソテール添付文書に準拠)
副作用	<p>●タキソテール</p> <p>重大 1.骨髄抑制 2.ショック症状、アナフィラキシー 3.黄疸、肝不全、肝機能障害 4.急性腎不全 5.間質性肺炎、肺線維症 6.心不全 7.播種性血管内凝固症候群(DIC) 8.腸管穿孔、胃腸出血、虚血性大腸炎、大腸炎 9.イレウス 10.急性呼吸促進症候群 11.急性膵炎 12.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、多形紅斑 13.心タンポナーデ、肺水腫、浮腫性体液貯留 14.心筋梗塞、静脈血栓塞栓症 15.感染症 16.抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) 17.重篤な口内炎等の粘膜炎、血管炎、末梢神経障害、末梢性運動障害、Radiation Recall現象</p> <p>その他 (50%以上)食欲不振、脱毛、全身倦怠感 (5~50%未満)悪心・嘔吐、下痢、口内炎、AST(GOT)・ALT(GPT)・AI-P・LDH上昇、発熱、浮腫、総蛋白・アルブミン異常 (5%未満)便潜血、腹痛、腹部膨満感、便秘、舌炎、口内乾燥、胃・十二指腸潰瘍、食道炎、しゃっくり、アレルギー、発赤、そう痒感、潮紅、皮疹、色素沈着、爪疾患、皮膚剥離、手足症候群、頭痛、意識喪失、見当識障害、めまい、昏迷、難聴、耳鳴、味覚異常、不眠、傾眠、羞明、視力異常、視覚障害(閃光、光のちらつき、暗点)、流涙、結膜炎、筋肉痛、関節痛、筋力低下・脱力感、背部痛、痙攣、γ-GTP上昇、総ビリルビン上昇、蛋白尿、K・Na・Cl・Caの異常、BUN上昇、クレアチニン上昇、尿糖、血尿、乏尿、頻尿、血圧低下、血圧上昇、不整脈、動悸、頻脈等、呼吸困難、咽頭炎、咳嗽、血痰、A/G比・CK(GPK)異常、静脈炎、疼痛、胸痛、全身痛、熱感、腰痛、鼻出血、ほてり、脱水</p>
備考	

タキソテール単独療法 観察記録

所要時間: 2時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: タキソテール (mg) 一般名(ドセタキセル)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	5%ブドウ糖250mL		2時間かけて点滴 【125mL/h】	
	生食100mL +デカドロン 2 A		30分かけて点滴 【200mL/h】	
	5%ブドウ糖250mL +タキソテール		60分かけて点滴 【250mL/h】	
本体終了後抜去				